

## 地域公共交通網形成計画作成の背景とその目的

### 1. 国の考える地域公共交通網形成計画の背景とその目的

人の「移動」の一翼を担う公共交通を取巻く環境は、自動車の普及や人口減少、少子高齢化など、厳しさを増しています。

公共交通網の縮小やサービス水準の一層の低下が、更に公共交通利用者を減少させることになるなど、「負の連鎖」に陥っている状況が見られ、このままでは地域の公共交通が成り立たなくなる可能性もあります。

地域公共交通の維持・改善は、交通分野だけの問題解決にとどまらず、まちづくりや観光、更には健康・教育・環境等の様々な分野で大きな効果をもたらします。しかし、地域によって抱える課題は様々であり、解決すべき課題が異なれば、地域における公共交通の「必要性」や「在り方」も異なってきます。

そこで、地域の総合行政を担う地方公共団体が中心となって、地域戦略の一環として、持続可能な公共交通網の形成を進める必要があります。

こうした背景を踏まえ、国は「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を改正し、地方公共団体は地域公共交通網形成計画の策定ができるようになりました。この計画は、地域公共交通の現状や問題点・課題の整理を踏まえて、公共交通網全体を一体的に形づくり、持続させることを目的として地域全体の公共交通の在り方や住民・交通事業者・行政の役割などを明らかにするものです。

#### 【ポイント】

- ① 地方公共団体が中心となり、②まちづくりと連携し、
- ③ 全体的な公共交通網を再構築することが求められています。



持続可能な公共交通網を形成する計画を策定し、実施することで推進する。



住みやすく、活力に満ちた地域社会の実現

(出典：地域公共交通網形成計画作成のための手引き)

## 2. 萩市地域公共交通網形成計画作成の背景とその目的

萩市には、JR山陰本線・離島航路・防長バス・中国JRバス・石見交通バス・循環まあるバスなどの公共交通がありますが、利便性や運賃などの面において、公共交通に対する市民の満足度は低く、過度に自家用車に依存している状況にあります。

また、萩市においても公共交通利用者の減少が公共交通網の縮小やサービス水準の低下を招き、更に公共交通利用者を減少させるなど、負の連鎖に陥っている状況が見受けられます。

しかしながら、今後、萩市では高齢化が更に進展し、運転免許証を返納される方が増加することが予想され、自ら移動する手段をもたない高齢者などの交通弱者の方の移動手段を確保することが、何よりも重要となります。

また、萩市は、合併により約700km<sup>2</sup>に及ぶ広大な面積を抱え、その大部分が中山間地域であることから、地域特性に応じた公共交通網の形成を目指すとともに、財政負担の増加を抑制し、効率的で持続可能な公共交通網の実現を目指す必要があります。

そのため、これまでのように市と交通事業者が地域公共交通の確保について話し合い、取り組むだけではなく、市民を含む関係者が現状や課題について情報を共有し、共通理解の下で、課題解決に向けてそれぞれの立場で課題解決の主体となって役割を担うことが重要となります。

以上のような課題を解決するため、市・交通事業者・市民等が協働して、持続可能な地域公共交通網の形成を目指して、「萩市地域公共交通網形成計画」を策定します。